

# 金太郎

むかしむかし、あしがら山の山奥に、金太郎という名前の男の子がいました。

金太郎のともだちは、山の動物たちです。

金太郎は毎日毎日、動物たちとすもうをして遊んでいました。

「はっけよい、のこった、のこった」

「金太郎がんばれ、クマさん負けるな」

だけど、勝つのはいつも金太郎で、大きな体のクマさんでも、金太郎にはかないません。

「こうさん、こうさん、金太郎はつよいなあ。でも、次は負けないぞ」

今度はつな引きです。

山中の動物たちが相手でも、金太郎1人にかないません。

「つな引きも金太郎の勝ち！」

大変力持ちの金太郎ですが、強いだけでなく、とてもやさしい男の子です。

ある日、クマの背中に乗って山道を行くと、谷のところで動物たちがこまっていました。

「どうしよう？ 橋がないから、向こうへわたれないよ」

「よし、ぼくにまかせておけ」

金太郎は近くに生えている大きな木にドーン！ と体当たりしてへし折ると、たちまち一本橋を作ってしまいました。

「どうもありがとう」

動物たちは大喜びで、金太郎のつくってくれた橋を渡りました。

その後、強い力とやさしい心を持った金太郎は、立派な若者になり、都のえらいお侍さんの家来(けらい)になって、悪い者をつぎつぎにやつつけたということです。

※ 金太郎は、坂田金時と言う名で源頼光(みなもとのらいこう)に仕え、酒呑童子とよばれる鬼を退治したとされています。

山奥 - inde i bjergene

動物 - dyr

はっけよい - sumo udråb når begge brydere er holdt op med at bevæge sig

のこった - sumo udråb: ikke endnu

負ける - tabe

勝つ - vinde

かなう - matche (i styrke)

こうさんする - overgive sig

つな引き - tovtræk

力持ち - stærk mand

強い - stærk

背中 - ryg

谷 - dal

こまる - være i problemer

橋 - bro

わたる - krydse over

まかせる - overlade til nogen

おく - stille (her som hjælpeverbum)

生える - vokse (om planter)

体当たりする - støde ind, ramme med kroppen

へし折 - ødelægge, smashe

大喜び - stor glæde

立派な - splendid

若者 - unge mennesker

都 - hovedstad

えらい - storslået

家来 - tjener, retainer

つぎつぎに - den ene efter den anden

やっつける - slå

むかしむかし、あしがら山の山奥に、金太郎という名前の男の子がいました。

金太郎のともだちは、山の動物たちです。

金太郎は毎日毎日、動物たちとすもうをして遊んでいました。

「はっけよい、のこった、のこった」

「金太郎がんばれ、クマさん負けるな」

だけど、勝つのはいつも金太郎で、大きな体のクマさんでも、金太郎にはかないません。

「こうさん、こうさん、金太郎はつよいなあ。でも、次は負けないぞ」

今度はつな引きです。

山中の動物たちが相手でも、金太郎1人にかないません。

「つな引きも金太郎の勝ち！」

大変力持ちの金太郎ですが、強いだけでなく、とてもやさしい男の子です。

ある日、クマの背中に乗って山道を行くと、谷のところで動物たちがこまっていました。

「どうしよう？ 橋がないから、向こうへわたれないよ」

「よし、ぼくにまかせておけ」

金太郎は近くに生えている大きな木にドーン！と体当たりして

へし折ると、たちまち一本橋を作っていました。

「どうもありがとう」

動物たちは大喜びで、金太郎のつくってくれた橋を渡りました。

そのご つよ ちから ところ も きんたろう りっぱ わかもの  
その後、強い力 とやさしい心 を持った金太郎は、立派な若者 になり  
みやこ さむらい けらい わる もの  
、都 のえらいお侍 さんの家来(けらい)になって、悪い者 をつぎつぎ  
にやっつけたということです。

きんたろう さかた きんとき い な みなもとのらいこう  
※ 金太郎は、坂田金時 という名で源頼光 (みなもとのらいこう)に  
つか さけ どうじ おに たいじ  
仕え、酒呑童子とよばれる鬼 を退治したとされています。